

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

不祥事根絶のための行動計画

福山市立 能登原小学校
作成責任者 校長 三谷 康文

子どもたちは私たちの姿を見て育ちます。
使命 私たちは、子どもを守り育てます。
遵守 私たちは、法令を遵守します。
公正 私たちは、不祥事を許しません。
公開 私たちは、地域に開かれた学校にします。

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	○サービス研修において自分のこととして考えにくい。	○サービス研修の方法や内容等を見直し、より体験的な研修を実施する。	○研修担当者が資料を集め、事前に管理職と協議したうえで研修を進行する。 ○自分の弱みを入れたチェックシートを自作することで自己を見つめる。 ○ロールプレイ等の研修を仕組む。	○研修担当を全員に割り振り研修を進行させる。 ○学期に1回、自己チェックリストを行う。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	○不祥事についての意識が希薄になりつつある。 ○職員一人一人の技量に頼る面がある。	○教職員同士のコミュニケーションをさらに促進し、お互いに指摘できる集団をつくる。 ○組織で取組を進めることができるようにする。	○日々の教育活動の中で何が不祥事につながるのか、具体的に話し合う場をつくる。 ○情報の共有化を図り、集団でサポートする体制をつくる。	○企画委員会で不祥事について情報交換を行い、状況を把握する。 ○不祥事防止委員会で把握した状況について検討し改善する。
相談体制の充実	○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知が年度当初のみであり、認知度が低い。	○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知を繰り返し行い、相談しやすい体制をつくる。	○学校だよりで保護者等に周知するとともに、校舎内全ての教室にポスターを掲示し、担当の教職員を明示する。	○学期末懇談会における保護者からの聴取記録を作成する。